

「戦争と医の倫理」の検証を進める会 連続学習会（オンライン・第6回）

「戦争トラウマと日常臨床」

申し込み締め切り: 5月24日(日)

日時: 2026年5月27日(水) 19:30~21:00

先着100人まで
参加費無料

講師: 蟻塚 亮二さん

(オンラインのみ)



「戦争と医の倫理」の検証を進める会の連続学習会も6回目を迎えました。今回の講師は、福島県相馬市で「メンタルクリニックなごみ」で院長を務められている蟻塚亮二先生です。テーマは「戦争トラウマと日常臨床」です。ぜひ、ご参加ください。

日本医学会総会が2027年4月に大阪で開催されます。「戦争と医の倫理」の検証を進める会では、日本の医学者・医師が戦争前、戦争中に行った「人体実験」などの、非人道的で医学医療倫理に反する行為を検証し、その教訓を学び、未来に活かしていくことが不可欠との思いから、医学会総会における具体的な取り組みを求めてきました。同時に、「進める会」としても2027年4月の医学会総会に向けて、連続学習会を企画しています。

講師紹介: 蟻塚 亮二(ありづかりょうじ)さん

1947年福井県生まれ、育った。弘前大学医学部卒業。青森県弘前市の藤代健生病院院長を務めた後、2004年から沖縄県那覇市の沖縄協同病院などに勤務し、沖縄戦から60余年の後に高齢者に発症した戦争PTSDを発見した。

2013年から福島県相馬市の「メンタルクリニックなごみ」院長を務める。

著書に『うつ病を体験した精神科医の処方せん』(大月書店 2005)、『沖縄戦と心の傷』(電子版、大月書店 2014)、『戦争と文化的トラウマ』(日本評論社 2023年 分担執筆)、『悲しむことは生きること』(風媒社 2023)など。

◆参加のお申し込みは、<https://forms.gle/ZbVabgbDpkih7Vhg7>
または、右のQRコードから登録をお願いします。

※開催2日前にZoomの招待メールと資料等を送信する予定です。

◆お問い合わせは、TEL 03-3375-5123(保団連事務局:小林まで)



連続学習会第7回は、8月26日(水)19:00~20:30

講師: 磯野理さん(京都民医連あすかい病院)

テーマ: 「化学兵器による被害」

詳細は、改めてご連絡します。

主催: 「戦争と医の倫理」の検証を進める会